

さぬ。

之もよくある事ではございませうか。あれもよいこれもよいと何でもかでも組み合せて種類や順序を深く考へぬとか、又はまわ此邊にして置かう位で好加減に組み合すとかいふ風でございしましたならば、折角一ツ々の各は貴い面白い遊戯といたしましても、幼児に實行される時には只ゴロ／＼とつゞくばかりであまり利益がないかも知れませぬ。ホンの幼児にさせる遊戯と軽く考へおろそかに組み合せてさせるのと、幼児に適した有益なしかも幼児の喜ぶものを順序よく種類もよく、組み合せてさせるのとは、其効果に大きな差異があらうと存じます。保母は或遊戯から他の遊戯に移る時に、あまりそれからそれへと何の連絡もなくズン／＼變化させ

てはならぬ。之は恒心なき人を作る根本になる。保母はあまり何時も同じ仕方での遊戯をさせてはならぬ。少し變化させると丸で新しいもの、様に幼児は思ふものである。

## 大阪の保育界

大阪市保育會は、是迄年二回會員の集會を催し斯道の研究をなしつつありしか、集會には動もすれば議論に流れて婦人會員等は手持無沙汰のことも多ければ、此程常議員四十名 男三十名 女十名を選びて代議機關となし、一月二十七日其第一回を開き左の諸件を議したり。

- 一 常議員會規則を造ると
- 一 出征者の幼児を他の幼児より先じて入園せしめ、又保育料を免除する様各園長へ交渉する

と (但し保育料は既に免除し居る向多し)

一時宜によりては出征者の幼児を定時より早く

登園せしめ、定時より後れて降園せしむると

(家庭の便利のために)

一 大阪婦人慈善會、愛國婦人會、浪華婦人會

汎愛扶植會等の従事しつゝ、ある出征者幼児

保育所に對し、本會より相應助力すると

一 前項の事業のため委員廿名を常置すると

委員 小笠原松枝、高橋銀、氏原銀、清

水常次郎、膳タケ

一 市内幼稚園擴張の件は左の如く決す

(議案)

大阪市内幼稚園擴張に關する方法

高等女學校ハ土地ノ狀況ニヨリ保育科目ヲ置キ幼稚園ヲ附設スル様當事者へ建議スル

一 府立師範學校ノ學科ニ幼兒保育ニ關スル件ヲ加フル様其筋

(建議ノ丁削除)

一 二部保育ノ實施ヲナスコト(可決)

一 保育室轉換ヲ實施スルコト(可決)

一 本會ニ於テ左ノ二事業ヲ行フコト(時機ヲ見ルニ決ス)

(甲) 保育料ノ高キ幼稚園ヲ設置スルコト

(乙) 貧民部落ニ幼兒附托所ヲ設置スルコト

一 小學校令施行規則申幼稚園幼兒定員ノ制限ヲ廢スル様文部大臣へ建議ノ事(可決)

一 兼務園長ニ手當ヲ支給スルコト(時機ヲ見ルニ決ス)

一 學校幼稚園ノ聯絡ニ付提攜調査ヲ大阪市政育會々長へ交渉スルコト(別ニ協議スル)

一 左ノ諸項ハ意見ヲ發表シ漸次其實施ヲ期スルコト

(イ) 小公園ヲ各負擔區ニ造リ其所ニ幼稚園ヲ設置スル

(時機ヲ見ルニ決ス)

(ロ) 一 小學校負擔區ニ一幼稚園ヲ設クルノ習慣ヲ打破シ幼

兒ノ多少ヲ量リ相當ノ幼稚園ヲ増設スルコト(可決)

一 幼稚園ヲ學校ヨリ分離セシムルコト(可決)

一 幼稚園設置ナキ負擔區ニ設置ヲ勸誘スルコト(可決)

一 幼兒幼稚園成續調査ノ件ハ廢案トナス

以上

二月三日會員中の保母、集英幼稚園に會し戦時保育助力につき協議したるに、志望者頗る多く、結

局、會員三部に別れて、公務後日々保育所に出張することとなりたり、又中には會自ら保育所を造らんかと言へるもありたり (し、つ 報)

雜 報

女子高等師範 國語體專修科生の募集

別項廣告の通り、尙便宜のため試験心得及履歷書式を左に掲載すべし。

國語体操專修科入學志願者心得

- 一、出願期限及手續
- 出願期限ハ明治三十八年三月二十日トス
- 入學願書ニハ履歷書及本年二月一日以後ノ證明ニ係ル戸籍ノ抄本ヲ添ヘテ差出スベシ(入學願書及履歷書々式ハ規則所定ニル)
- 一、道廳府縣立師範學校卒業生ニシテ服務年限中ニアル者及現ニ奉職中ノモノハ其所轄地方長官ノ許可書ヲ添ヘテ差出スベシ
- 一、志願者ハ本年四月一日ノ調ニテ滿十七年以上三十年未滿(明治

- 八年四月二日以後全二十一年四月一日以前ニ出生ノ者)ニシテ夫ヲ有セザル者トス
- 一、募集人員ハ三十名トス
- 一、入學試験ハ後記ノ日時刻ニ據リ當校ニ於テ施行ス
- 受験者ハ同日午前七時三十分マデニ出校スベシ

國語体操專修科入學試験日時刻

午前八時ヨリ全十時マデ	午後一時ヨリ全二時マデ	四月四日 (火)		四月五日 (水)		四月六日 (木)	
		体格検査	音樂 樂器使用	國語 文法	漢文 解釋	國語 文法	地理 本邦外國
午前八時ヨリ全十時マデ	午後一時ヨリ全二時マデ	音樂 樂器使用	體操 徒手	國語 文法	漢文 解釋	國語 文法	地理 本邦外國
午前八時ヨリ全十時マデ	午後一時ヨリ全二時マデ	音樂 樂器使用	體操 徒手	國語 文法	漢文 解釋	國語 文法	地理 本邦外國

一、詳細ハ二月三、四ノ官報若クハ本校ニ就キ承知スベシ

女子中等教育講習科

神田橋外なる東京府教育會内東京女學講習會は、從來女子師範學校、高等女學校に入學を志望するもの、爲めに特に受験に要する學科目を教授し來りしが、今回女子師範學校、高等女學校の家事科